

内容の解説と配慮事項

(6) 自然や物を使った遊び

身近な自然を利用したり，身近にある物を使ったりなどして，遊びや遊びに使う物を工夫してつくり，その面白さや自然の不思議さに気づき，みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

1 身近な自然

児童を取り巻く自然の中から，児童が自分の遊びの目的のために選び出した自然。

(例) ・草花 ・樹木 ・木の実 ・木の葉 ・石 ・砂 ・土
・光 ・影 ・水 ・雪 ・氷 ・雨 ・風 などの事物や現象

2 身近な物

日常生活の中にある様々な物の中で，児童が遊びを工夫したり，遊びに使うものを作ったりするために使おうと選び出す事物。

(例) ・紙 ・ひも ・ポリ袋 ・空き缶 ・ストロー ・割りばし ・紙コップ
・ペットボトル ・牛乳パック ・トレイ ・輪ゴム ・磁石 など

3 遊びや遊びに使う物を工夫してつくり，その面白さや自然の不思議さに気づき

遊びや遊びに使う物を工夫してつくる



遊びの面白さとともに，自然の不思議さにも気づく

「面白さ」

- ・遊びに浸り没頭する遊び自体の面白さ
- ・遊びを工夫し遊びをつくり出す面白さ
- ・友達と一緒に遊ぶことの面白さ

「不思議さ」

- ・見通しと事実が異なった時の疑問
- ・目に見えないものはたらき
- ・自然の中のきまり
- ・自然現象そのものから感じる不思議

【配慮事項】

- 一人ひとりの思いや願いを生かした多様な遊びを行い，互いに響かせ合うような学習活動を展開する。

「比べる」・・・相違点や共通点に気付く

「繰り返す」・・・「どうしてかな」という疑問が生まれる

「試す」・・・きまりに気付く

- 友達とのかかわり合いを通して，約束やルールがあることにも気付かせる。